

# 車いす模擬歩道体験ユニット 福祉「体験教室」

母型制作中



商品型(材質:FRP)



母型制作(材質:新建材。軽量セメント)



2004年(平成16年) 11月25日(木曜日) 読 賣 新 聞

## 修学旅行で車いす体験を

きょう  
説明会

### 広島市が売り込み



広島市の新たな修学旅行メニューとして期待がかかる車いす体験用歩道(広島市安佐南区長楽寺2の広島高速交通で)

名な観光地でも、新たな魅力づくりがないと、児童生徒は集まらない。平和都市ヒロシマでの福祉体験は、意外性があり面白い」と話している。

修学旅行生の受け入れが年々減少している広島市は、広島平和記念資料館(中区)の見学に代わる平和教育以外の新たな誘致策として、車いすに乗って高齢者や身体障害者の疑似体験をする「福祉体験コース」を旅行に採り入れてもらうと、働きかけを強めている。平和と福祉を兼ねた体験型学習で「巻き返しを」と意気込む市は、十五日、旅行会社や学校関係者を対象にした初めての説明会を同市内で開く。

福祉体験は、段差や傾斜、点字ブロックなど、身の回り障壁物を、組み立て式の強化繊維プラスチックで再現した「車いす体験用歩道」(同回約1千円)を活用し、車いすに乗って高齢者や身体障害者の疑似体験をする。非営利組織(NPO)法人、きょうかけづくりの会が二〇〇〇年に独自開発した国内唯一のコースだが、このユニークな試みに注目した同市が同会に協力を要請。広島高速交通本社ビル(安佐南区長楽寺二)内に車いす体験用歩道を常設してもらうことで、修学旅行生の福祉体験を実現した。

修学旅行先の定番の京都や東京でも、駅などのバリアフリー体験が近年人気となっているといい、広島市にもすでに問い合わせが寄せられている。

同市では、少子化や、沖繩への平和学習に学校が流れている影響で、修学旅行生の受け入れが一九八八年度の約五十七万人をピークに減り続け、昨年度は約三十一万人まで落ち込んだ。JTB団体旅行広島支店(広島市中区)の金森健治・営業一課長は「総合的学習の導入後、体験型学習の修学旅行が増えている。有